

#### 4. 学術委員会報告

日本数学会国際研究集会(MSJ-IRI)について、2件報告します。

##### I. 第15回 MSJ-IRI ファーストアナウンスメント

ファーストアナウンスメントが公表されました。概要は以下の通りです。

##### 第15回日本数学会国際研究集会

##### 「差分方程式とその応用」

(The 15th MSJ-IRI on Difference Equations and Applications)

・主催：日本数学会，国際差分方程式学会，京都大学経済研究所

・開催日程：2006年7月24日（月）～7月27日（木）

・開催場所：京都大学

・組織委員 (Scientific Committee) :  
K. Aomoto (Nagoya University, Japan),  
S. Elaydi (Trinity University, USA),  
G. Ladas (University of Rhode Island, USA),  
J. Hietarinta (University of Turku, Finland), K. Okamoto (University of Tokyo, Japan), G. Sell (University of Minnesota, USA),  
A. Sharkovsky (National Academy of Sciences, Ukraine), M. Shishikura (Kyoto University, Japan), J. Yorke (University of Maryland, USA)

・(Program Committee) : K. Nishimura (委員長) (Kyoto University, Japan),  
H. Kokubu (Kyoto University, Japan),  
Y. Hamaya (委員長) (Okayama University of Science, Japan),  
N. Tose (Keio University, Japan)

・連続講演者 : J. Yorke (University of Maryland), M. Golubitsky (Houston University), S. Elaydi (Trinity University), G. Ladas (University of Rhode Island)

・特別講演者 : G. Sell (University of Minnesota), I. Alsedra (Barcelona),  
P. Kloeden (Johann Wolfgang Goethe

Universitat), A. Vanderbauwhede (Belgium), H. Brunner (New Foundland), (その他20名の方と交渉中)

上記の連続講演および特別講演のほかに、一般講演を募集する予定です。

なお、以下のインターネットサイトに、新しい情報を順次掲載致します。

URL: <http://www.kier.kyoto-u.ac.jp/ICDEA/>

##### II. MSJ-IRI の枠組みの見直し

これまでお知らせしました通り、助成環境の変化に対応すべく枠組みを見直すため、

##### 平成19年度(2007/8年度)は日本数学会国際研究集会(MSJ-IRI)を開催しない

こととしました。また、平成20年度から名称を変えて、数学会がより主体的に運営に関わる形での再開を目指しています。見直しに関するご意見は、随時学術委員会運営委員までお寄せ下さい。会員の皆さまのご協力を、よろしくお願い申し上げます。

(学術委員会委員長 中島啓記)